

エヌアイだより



病院の理念

私たちは、地域に根ざした消化器専門病院として、良き伝統を重んじつつ、慈愛と英知を結集し地域医療に貢献する。

基本方針

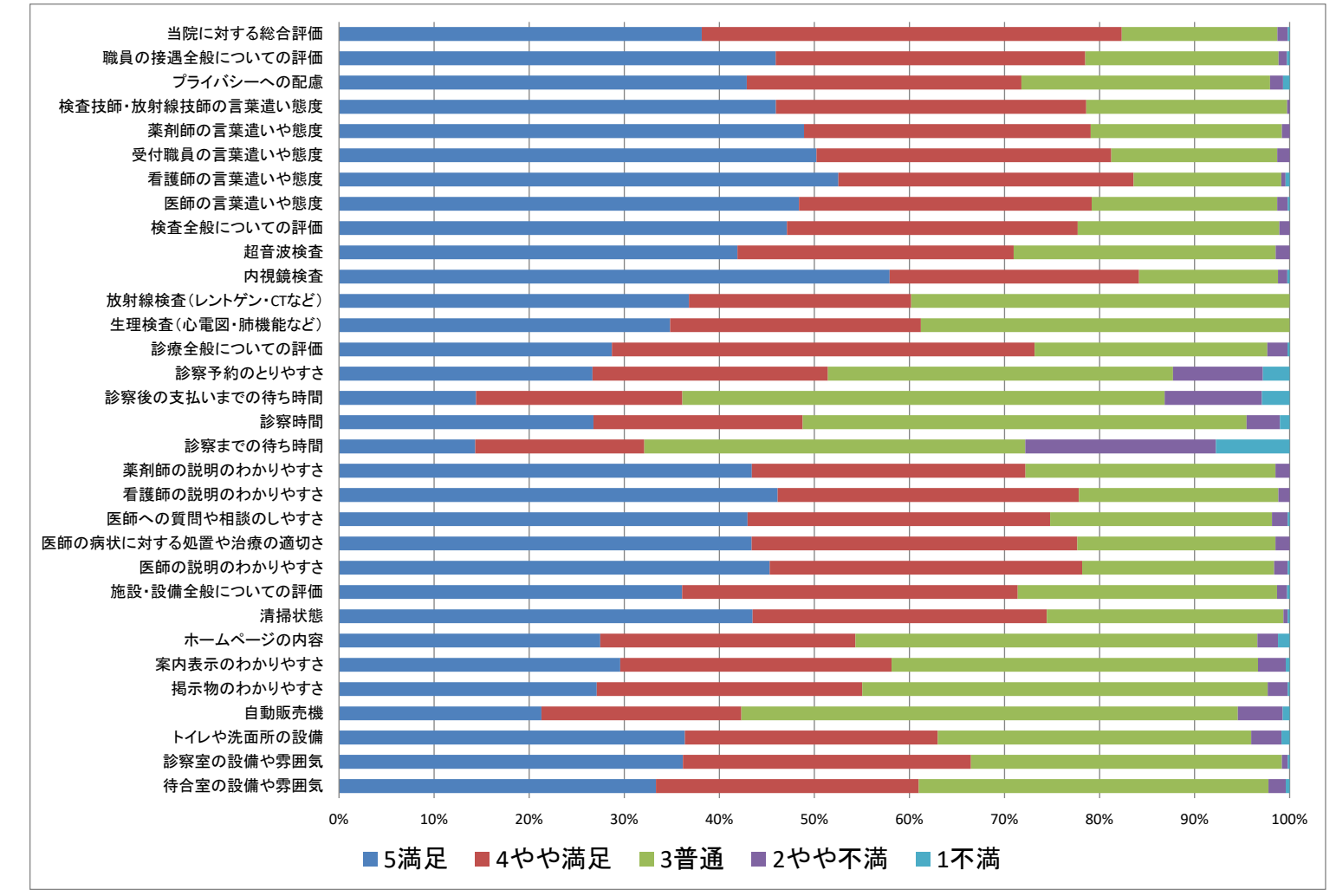
1. 私たちは、生命の尊重と人間愛とを基本とし、専門技術、知識、心を患者さんに提供するものとする。
2. 私たちは、ひとりひとりが病院の顔であるとの意識を持って、患者さんに奉仕するものとする。
3. 私たちは、ひとりひとりが常に技術知識の研鑽、向上に励み、礼節をもって患者さんに心から満足してもらうサービスを提供するものとする。
4. 私たちは、患者さんにとって良い医療を、迅速にサービスするものとする。

患者の権利と責任

1. 適切な医療を公平に受ける権利があります。
2. 病状と経過、検査や治療の内容などについて理解しやすい言葉で説明を受ける権利があります。
3. 充分な説明と情報に基づき、自らの意志で医療内容を選択する権利があります。
4. 診療上得られた個人情報保護される権利があります。
5. 患者さんは、私たちに對し自らの健康等に関する情報を正確に伝える責任があります。

外来患者さま満足度アンケート

2024 年 2 月 5 日～2 月 19 日の間、外来患者さま満足度調査を行いました。このグラフの他にも、数多くのご意見を頂きました。今後の診療に活かしていきたいと思ひます。ご協力ありがとうございました。



栄養指導のご案内

「糖尿病と言われたけど何を食べればよいかわからない・・・」
「高血圧なので塩分を控えているけど他に気を付けることはある？」
「悪玉コレステロールを減らすにはどうしたらよい？」

このような食事についてお困りのことはありませんか？

管理栄養士が、患者様の日常生活や食習慣に寄り添った内容で、無理なく楽しく実践できるよう栄養指導を行っています。

栄養指導をご希望の患者様は**診察時に医師へ**お申し出ください。



★指導時間

30分程度

★予約制

予約状況により診察当日の指導も可能です。

★栄養指導料

治療の一環のため医療保険適応（自己負担あり）

★対象疾患

糖尿病・高血圧症・脂質異常症・高尿酸血症・潰瘍性大腸炎・クローン病・潰瘍・貧血症 など。

編集後記

が、多発自然災害
日本、家族・大
切な人々を季節の
移り変わりを感
じられるあたり
前の毎日を大切
に思う今日この
頃は、みなさん
かんは、お花見
かれましたか？
(桂)



「愛知県看護学会」で発表をしました

令和 5 年 12 月に愛知県産業労働センター（ウインクあいち）にて、第 39 回愛知県看護学会が開催され「独居認知症高齢者の生活サイクルを把握できるセンサーを導入し、得られた睡眠データを看護介入に活用した一事例」と題し事例報告をさせていただきました。



独居高齢者が増えるなか、訪問看護では特に認知症の方の生活像が把握できず課題となっています。当ステーションでは、株式会社 F U J I と共同し、自宅に赤外線センサーをつける事で、今まで把握できなかった生活サイクルの把握に取り組みました。今回の事例では睡眠の質に問題があると分析し、ケア介入に繋げることが出来ました。

今後、新しい取り組みにも挑戦し、質の良い看護が提供できるよう努力していきたいと思ひます。

訪問看護ステーションなかの 川尻

面会制限レベルについて

当院では、安全な療養環境を提供するために、面会制限レベルを設定し、「面会制限」を行っています。このレベルは、愛知県内及び周辺地域の流行性ウィルス感染症（インフルエンザ、新型コロナ等）の流行状況を参考にしながら設定しています。

面会を希望される方は、あらかじめレベルや時間をホームページなどで確認したうえで来院し、ナースステーション窓口で検温及び体調確認を行った後に、許可証の着用をお願いしております。ただし、乳幼児および発疹・発熱・咳などの感冒症状がある方や体調不良の方については、面会制限に関係なくご遠慮いただきます。感染拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、いずれのレベルにおいても、入室時のマスク着用と手指消毒の徹底をお願いしております。





現在の面会制限レベル

好酸球性食道炎

医師：神谷 賢吾

❖ 好酸球性食道炎

「胸やけ」「つかえ感」などの症状の原因としては胃酸の逆流による逆流性食道炎が多く、胃酸を抑える薬で治療されます。治療を受けているのに症状がなかなか改善しない方は、好酸球性食道炎の可能性があるかもしれません。

❖ 好酸球性食道炎とは

アレルギーに関して働く白血球の一種である「好酸球」が食道の粘膜に集まって慢性的に炎症を起こすことが原因の食道炎です。根本的な原因は不明ですが、食物に対する慢性的なアレルギーが原因となっている可能性があります。

❖ 疫学

日本は海外と比較すると珍しい病気とされていましたが、内視鏡検査（胃カメラ）の受診率の増加・診断の向上により近年増加



傾向にあり、内視鏡 1,000 ～ 5,000 人に 1 人程度の患者が見られるという報告もあります。当院では最近 1 年間で約 20,000 件の胃カメラを行い、38 人に好酸球性食道炎が疑われる所見を認めました。

喘息やアレルギー性鼻炎など何らかのアレルギー疾患を持っている人に多く発症します。発症年齢は 30 ～ 50 歳と比較的若い年齢が中心で、性別では約 70 ～ 80% が男性とされています。

❖ 症状

慢性的な炎症が起こることで食道の動きが悪くなり、「喉のつかえ感」や「飲み込みにくさ」「胸やけ」「胸の痛み」などの症状がみられます。長期間炎症が続いた場合、食道が狭窄（狭くなること）してしまい、食べたものが通らず食べられなくなることもあります。

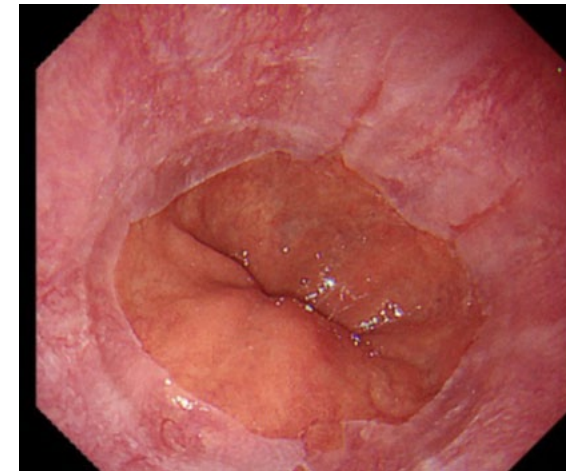
一方で全く症状が無く、健診などで内視鏡を受けた時に偶然見つかる場合もあります。

❖ 診断

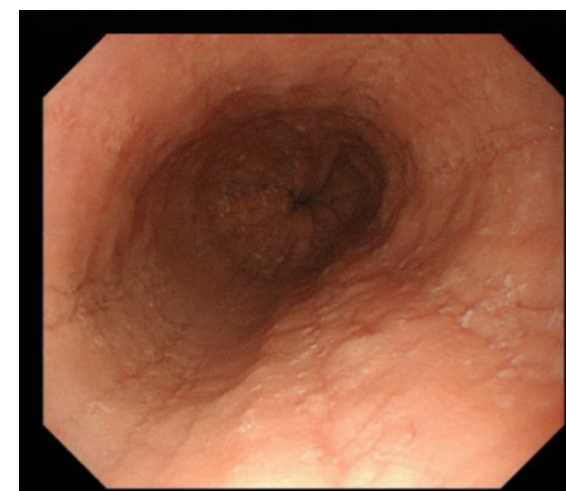
上記のような症状があることに加え、食道粘膜の生検検査（組織を小さく採取し顕微鏡で細胞を見る検査）で一定数以上の好酸球を認めることで診断されます。胃カメラでの観察でも輪状溝や縦走溝、粘膜浮腫や白斑など特徴的な所見（下図）があり、非常に少ないですが重度な場合には食道の狭窄を認めることもあります。その他、男性

に多いこと、血液検査で好酸球が高値であることなども参考にして、これらの情報から総合的に診断しています。

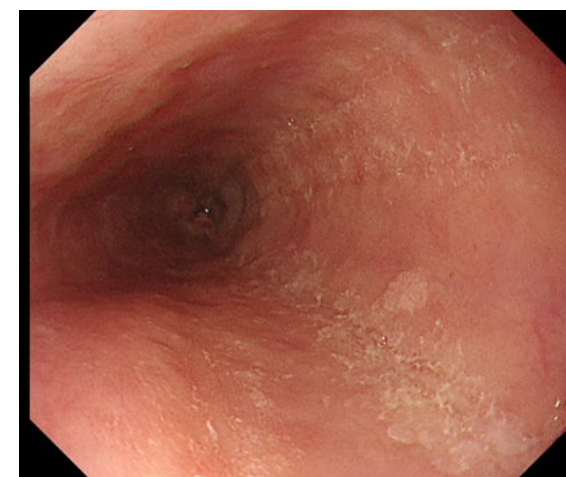
参考：逆流性食道炎



好酸球性食道炎：縦走溝



好酸球性食道炎：白斑



❖ 治療

好酸球性食道炎の治療法の第一選択は逆流性食道炎にも用いられる酸分泌抑制薬です。約 60% 程度で症状・内視鏡所見の改善が認められます。有効でなかった場合や、長期経過で効き目が悪くなる場合にはステロイドの内服治療があります。喘息で用いられる吸入用のステロイド剤を吸わずに飲み込んで食道に付着させる方法です。2 ～ 3 ヶ月程度の使用で約 70% に効果がみられます。

海外では小麦・ミルク・卵・大豆・ナッツ・海産物の 6 種を除去する抗原除去食の摂取によって 70% の有効率があるとされていますが、日本ではあまり行われていません。

食道が狭くなっている場合には胃カメラを使って狭いところを広げるバルーン拡張術という方法があります。

❖ 予後

適切に治療を行い炎症が落ち着いた場合の経過については未だ十分に解明されていません。無症状の場合でも今後病状の悪化する可能性がありますので、年 1 回程度の定期的な内視鏡検査をお勧めしています。

